

つくば市水道事業経営戦略（概要）

※ページ数は、経営戦略本編におけるページである。

1 策定の経緯（1 ページ）

目的：将来にわたり安全安心な水道水の安定供給の実現
課題：施設等の老朽化対策、水道未普及地域の解消 など



中長期的な基本計画である「経営戦略」を策定

※計画期間：10 年間（2023 年度～2032 年度）

2 経営の基本方針（31 ページ）

経営の基本理念

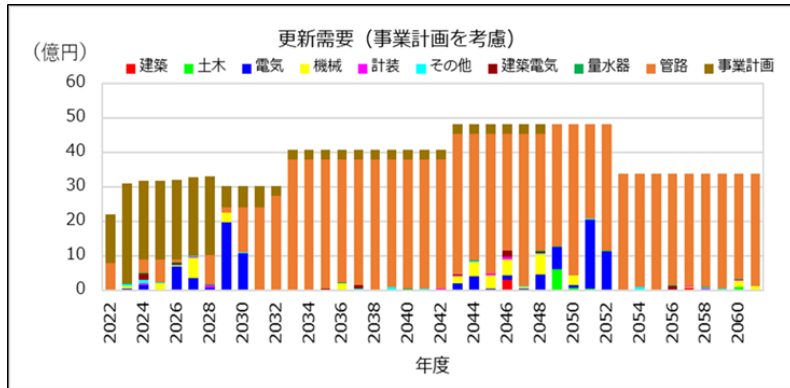
「地域とともに、信頼を未来につなぐつくばの水道」

水道事業の理想像である「持続」「安全」「強靱」の実現を目指すことを基本方針とする。

3 投資・財政計画（収支計画）

(1) 投資について（33～34 ページ）

2061 年までの 40 年間の更新費総額：約 1,306 億円
（構造物及び設備：約 172 億円、管路：約 1,134 億円）



(2) 財政シミュレーションにおける主な条件（35～38 ページ）

- ・事業に必要な財源を過度に企業債に依存することのないよう企業債残高対給水収益比率の上限を 350% に設定
- ・物価が影響する経費については、物価上昇率 3.1%/年を見込む。
- ・災害等の突発的な支出に備えるため資金残高を 10 億円から 30 億円に引き上げる。

(3) 財政シミュレーション結果（企業債残高対給水収益比率の上限 350%）（39～41 ページ）

		単位：千円										
		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2023～2032
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	合計
		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R5～R14
収益	水道事業収益	5,666,362	5,725,040	6,517,796	6,537,306	6,603,185	6,646,092	6,701,325	7,605,605	7,661,017	7,684,512	67,348,241
	水道事業費用	4,960,425	5,140,857	5,314,478	5,374,070	5,558,702	5,768,193	5,984,604	6,197,281	6,353,489	6,476,055	57,128,153
	損益	705,938	584,183	1,203,319	1,163,236	1,044,484	877,899	716,721	1,408,324	1,307,528	1,208,457	10,220,089
資本	資本的収入	1,923,848	2,539,094	1,778,383	1,788,111	1,935,775	2,013,702	1,993,834	1,188,140	1,186,683	1,091,857	17,439,427
	資本的支出	4,186,549	4,354,310	4,278,297	4,307,003	4,403,504	4,454,141	4,411,938	4,451,428	4,451,997	4,361,304	43,660,471
	差引	▲ 2,262,701	▲ 1,815,216	▲ 2,499,914	▲ 2,518,892	▲ 2,467,729	▲ 2,440,439	▲ 2,418,104	▲ 3,263,288	▲ 3,265,314	▲ 3,269,447	▲ 26,221,044
業務量	給水人口(人)	235,724	240,640	245,590	248,960	252,350	255,758	258,907	261,787	264,004	266,226	
	年間有収水量(m ³)	23,025,792	23,261,085	23,563,670	23,757,120	24,020,214	24,154,970	24,338,200	24,513,400	24,701,340	24,755,760	
	供給単価(円/m ³)	203.44	203.44	233.96	233.96	233.96	233.96	233.96	269.05	269.05	269.05	
	20m ² 当たりの水道料金(円)	4,069	4,069	4,679	4,679	4,679	4,679	4,679	5,381	5,381	5,381	
	料金改定率(%)	0%	0%	15%	0%	0%	0%	0%	15%	0%	0%	
経営指標	起債比率	47.0%	62.0%	45.0%	45.0%	48.0%	50.0%	56.0%	33.0%	33.0%	30.0%	
	資金残高	1,216,568	1,417,572	1,644,968	1,826,788	2,041,005	2,229,745	2,425,849	2,623,354	2,827,159	3,009,143	
	損益	705,938	584,183	1,203,319	1,163,236	1,044,484	877,899	716,721	1,408,324	1,307,528	1,208,457	
	企業債残高	14,168,048	15,540,574	16,256,677	16,998,157	17,880,828	18,803,773	19,886,640	20,137,770	20,382,458	20,660,062	
	企業債残高対給水収益比率	302.45%	328.40%	294.88%	305.82%	318.18%	332.73%	349.25%	305.34%	306.70%	310.18%	

- ・企業債残高が設定上限を超える年度に料金改定を見込む。
（2025 年度：15%、2030 年度：15%）
- ・純利益（損益）は約 6～14 億円で推移
- ・企業債残高は、10 年後の 2032 年度には約 207 億円になる見込みである。

※標準世帯（3 人家族、口径20mmで1か月20m³使用）の水道料金

	現行	2025年度	2030年度
水道料金	3,190円	3,669円	4,219円
現行との差	—	479円の増	1,029円の増

★企業債残高対給水収益比率 他案との比較（42 ページ）

※今後10年間における料金改定の時期・改定率等

上限	300%		350%		500%	
	改定率	料金(円)	改定率	料金(円)	改定率	料金(円)
年度						
2024年度	18%	3,764		3,190		3,190
2025年度		3,764	15%	3,669		3,190
2029年度	12%	4,216		3,669	15%	3,669
2030年度		4,216	15%	4,219		3,669

※料金は、標準世帯（3 人家族、口径20mmで1か月20m³使用）における水道料金である。

※企業債残高の見通し

上限	300%	350%	500%
10年後（2032年度）	181億円	207億円	266億円
20年後（2042年度）	235億円	262億円	378億円